

株式会社フクル 2025年度 サステナビリティレポート

人と衣服と地球のしあわせな関係をつくる アパレル**DX・GX**の挑戦

【GHG算定結果】 Scope 1: 5.90t | Scope 2: 5.10t | Scope 3: 161.82t （合計: 172.82 t-CO₂）

エグゼクティブサマリー：サステナビリティ経営の基本方針

1. 経営理念とビジョン

More Healthy Apparel

- 「人と衣服と地球のしあわせな関係をつくる」を理念に掲げる。
- ファッション界の両極（コム デ ギャルソン / イオン）を知る代表・木島広氏のもと、伝統の桐生市からアパレル革新を発信。
- 大量生産・大量廃棄から脱却し、必要な服を必要な分だけ作る社会を実現。

2. 2025年度 GHG算定の成果

Scope 3の明確化と脱炭素

- 2025年度のサプライチェーン全体の排出量は合計 172.82 t-CO₂。
- 全体の約93.6%（161.82t）がScope 3（原材料調達・製造）に起因。
- 「FiTO」を通じた受注生産とCO₂可視化・オフセットで業界の脱炭素を牽引。

3. 国際認証・アライアンス 高い透明性と社会的評価

- 2025年11月、国際環境目標「SBT認定」を取得。
- 2025年度グッドデザイン賞および2026年9月SXアワードを受賞。
- 2026年6月「GXフューチャー・リーグ／コンソーシアム」参画決定。
- JSFA・環境省デコ活応援団にも加盟。

2025年度 温室効果ガス（GHG）排出量算定結果

算定ハイライト（合計: **172.82 t-CO₂**）

Scope 1 (直接排出)

5.90 t-CO₂

構成比: 3.4% / 自社工場・設備

Scope 2 (間接排出)

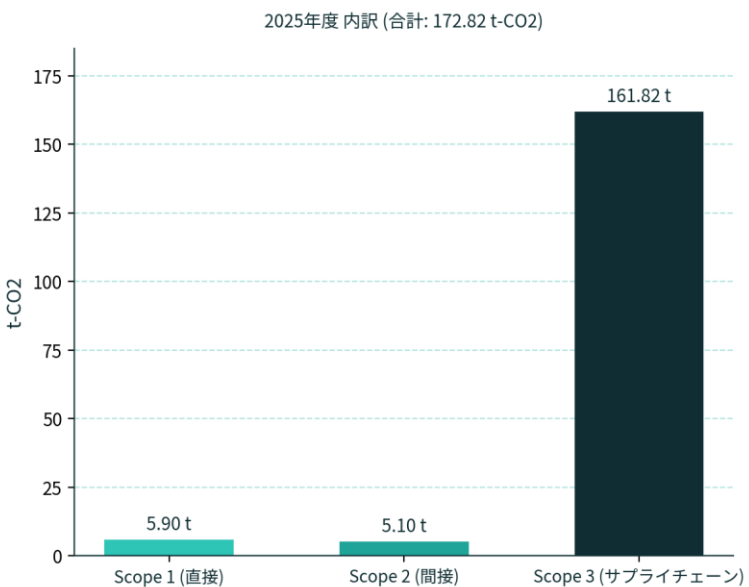
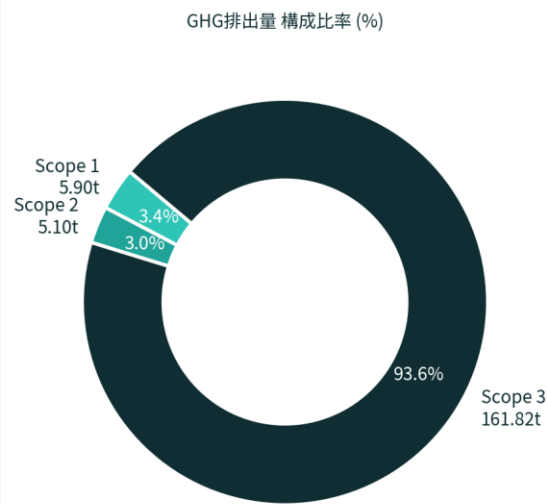
5.10 t-CO₂

構成比: 3.0% / 購入電力等

Scope 3 (サプライチェーン)

161.82 t-CO₂

構成比: 93.6% / 生地・縫製・物流等



Scope 3削減に向けた「FiTO」の主要ソリューション

1. FiTO見積り

可視化 & マスカスタマイゼーション

- LCAソフト「MiLCA」およびIDEAデータベースを活用し、服1着ごとのCO2排出量を精密算定。
- 受注生産（必要な時に必要な量だけ作る）により、過剰在庫・廃棄ロスを根本から防止。

2. カーボン・オフセット

特許第7054285号（民主化モデル）

- 顧客や事業者が0%～100%の任意の比率で環境投資を選択できる革新的なビジネスモデル。
- オフセット証明書の発行や独自ポイント（ライフポイント）で環境貢献を可視化。

3. FiTOリペア

長寿命化 & 実質ゼロ化

- アウトドアウェア等の専門補修を行い、1着の服を長く大切に着るサーキュラーエコノミーを推進。
- リペア工程で発生するCO2もオフセットし、環境負荷実質ゼロで提供。

ガバナンス・外部評価・参画アライアンス

SBT 認定取得

2025年11月 取得

パリ協定に整合する科学的根拠に基づいた温室効果ガス削減目標として、SBT（Science Based Targets）イニシアティブより正式認定。

GXフューチャー・リーグ参画

2026年6月 参画決定

「GXフューチャー・リーグ」および「GXフューチャー・コンソーシアム」に加盟。GX製品・サービスの積極調達・販売基準づくりを主導。

グッドデザイン賞 / SXアワード

2025年 / 2026年9月 受賞

環境配慮とデザイン性・デジタル技術を高次元で融合した「FiTO」が2025年度グッドデザイン賞を受賞。さらに2026年9月29日SXアワードを受賞。

業界・公的連携

継続的なパートナーシップ

環境省「デコ活応援団」等に参画し、アパレル全体の脱炭素化を牽引。

今後の展望：分散型ネットワークと「服作りの地産地消」

日本の繊維産業の未来を築く3つの挑戦

1. 分散型縫製ネットワークの全国展開

全国の縫製工場をITで繋ぎ、「地産地消」型の国内即応生産インフラを確立。国産比率（現1.5%）向上と職人の適正工賃確保に貢献。

2. デジタル製品パスポート（DPP）への先行対応

いつ・どこで・誰が作ったかのトレーサビリティ開示を徹底。欧州等の厳格な環境規制を見据えた高い透明性を実現。

3. GXフューチャー・リーグ等を通じたルール形成

2026年6月参画のGXフューチャー・リーグやパートナー企業・自治体と連携し、持続可能なアパレル調達・評価基準の国際標準化を推進。